

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	浜崎 雄平	平成15年度科学研究補助金	基盤研究(C)(2)	ロイコトリエンの活性化を規定する因子(合成・分解酵素, 受容体)の分子生物学的解析	800
助教授	石井 榮一	平成15年度科学研究補助金	基盤研究(B)(1)	家族性血球貪食症候群の病態解析と責任遺伝子の同定	5,000
助教授	石井 榮一	平成15年度厚生労働科学研究費補助金		小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	500
助教授	石井 榮一	厚生労働省がん研究班助成		乳児白血病に対する臍帯血移植療法	500
助教授	石井 榮一	厚生労働がん研究班研究助成		乳児白血病の治療法の確立	800
助手	松尾 宗明	平成15年度科学研究補助金	基盤研究(C)(2)	熱性痙攣患児におけるIFN α 産正能とトールライクレセプター3遺伝子多型	1,000
講師	藤田 一郎	平成15年度科学研究補助金	基盤研究(C)(2)	臍帯血幹細胞の血管内皮細胞刺激による体外増幅を用いた造血幹細胞移植療法の開発	1,900
助手	西村 真二	平成15年度科学研究補助金	基盤研究(C)(2)	川崎病発症に関与するトールライクレセプターファミリーの解析と治療への応用	1,900
助手	今吉美代子	平成15年度特定非営利活動法人日本川崎病研究センター研究助成補助金		川崎病病態形成におけるToll-like receptor familyの解析	750

外 科 学 講 座

一般・消化器

著 書

- 宮崎耕治：胆石・胆嚢炎。上西紀夫, 平田公一 編：消化器外科勤務スタッフマニュアル。441-446。中外医学社。東京。2003。
- 宮崎耕治：胆道癌。上西紀夫, 平田公一 編：消化器外科勤務スタッフマニュアル。447-455。中外医学社。東京。2003。
- 宮崎耕治：膵腫瘍および膵内分泌腫瘍の病態・診断・治療。平成14年度後期日本消化器外科学会教育集会テキスト。71-80。日本消化器外科学会教育集会 編。大阪。2003。
- 宮崎耕治：糸結び。新ベッドサイド処置アトラス 消化器外科4月臨時増刊号 26(6)。696-701。へるす出版。東京。2003。
- 宮崎耕治：書評「癌についての505の質問に答える」小川道雄 編：癌と化学療法 30(8)。1210。

へるす出版. 東京. 2003.

- 6 眞方紳一郎, 北原賢二, 渡辺恵子, 宮崎耕治: Fibrolamellar hepatocellular carcinoma の一切除例臨床と病理からみた肝癌類似病変症例集. 九州肝臓外科研究会 編. 81-86. 九州肝臓外科研究会・肝癌類似病変小委員会. 2003.
- 7 中房祐司, 宮崎耕治: 乳房痛(排膿・出血を含む). 瀧 健治, 加藤博之, 河野寛幸, 増田裕幸 編: 症候からの鑑別診断の進め方. 233-235. 羊土社. 東京. 2003.

学術論文

- 1 *DE. Hansel, A Rahman, M Hidalgo, PJ. Thuluvath, K.D. Lillemoe, R Shulick, J-L Ku, J-G Park, Miyazaki K, R Ashfaq, II. Wistuba, R, Varma, L Hawthorne, J Geradts, P Argani, A Maitra: Identification of Novel Cellular Targets in Biliary Tract Cancers using Global Gene Expression Technology. *Am. J. Pathol.* 163(1): 217-229, 2003.
- 2 *藤木博太, 菅沼雅美, 松山 悟, 宮崎耕治, 今井一枝, 中地 敬: 緑茶によるがん予防—臨床応用に向けて. *癌の臨床.* 49(3): 197-202, 2003.
- 3 萩原 淳, 中房祐司, 濱本隆浩, 佐藤清治, 宮崎耕治: 敗血症へと進展した蜂窩織炎性結腸炎の1例. *日臨外会誌.* 64(1): 126-130, 2003.
- 4 廣橋喜美, 大塚順和, 樋高克彦: 高齢女性に初発した HLA B51 陽性単純性潰瘍の1例. *日消外会誌.* 36(8): 1216-1220, 2003.
- 5 廣橋喜美, 大塚順和, 明石道昭, 鮫島隆一郎, 樋高克彦: メッシュ・プラグヘルニア修復術後再発に対する硬膜外麻酔下腹腔鏡併用ヘルニア修復術の有用性. *手術.* 57: 1687-1689, 2003.
- 6 *Kamij H, Dugue L, Yakushiji H, Pochet S, Nakabeppu Y, Harashima H: Substrate recognition by the human MTH1 protein. *Nucleic Acids Res. Supp.* 1(2): 85-86, 2003.
- 7 Kido S, Miyazaki K, Tokunaga O: The relationship between primary gastric B-cell lymphoma and immunoglobulin heavy chain (IgH) gene rearrangement—a histopathological study of primary gastric lymphomas. *Pathol. Res. Pract.* 199: 647-658, 2003.
- 8 Kitajima Y, Miyazaki K, Matsukura S, Tanaka M, Sekiguchi M: Loss of expression of DNA repair enzymes MGMT, hMLH1 and hMSH2 during tumor progression in gastric cancer. *Gastric Cancer.* 6: 86-95, 2003.
- 9 Kohya N, Kitajima Y, Jiao W, Miyazaki K: Effects of E-Cadherin Transfection on Gene Expression of a Gallbladder Carcinoma Cell Line: Repression of Mts1/S100A4 Gene Expression. *Int. J. Cancer.* 104: 44-53, 2003.
- 10 Lee S. W., Okada S., Fujiuchi N., Ohtsuka T., Kwak J. C., Wang Y., Johnstone R. W., Deng C., Qin J., and Ouchi T: A member of the Pysin family, IFI16, is a novel BRCA1-associated protein involved in the p53-mediated, *Oncogene.* 22: 8931-8938, 2003.
- 11 Manabe Y, Toda S, Miyazaki K, Sugihara H: Mature adipocytes, but not preadipocytes, promote the growth of breast carcinoma cells collagen gel matrix culture through cancer-stromal cell interactions. *J. Pathol.* 201(2): 221-228, 2003.
- 12 Matsukura S, Miyazaki K, Yakushiji H, Ogawa A, Chen Y, Sekiguchi M: Combined loss of expression of O6-methylguanine-DNA methyltransferase and hMLH1 accelerates progression of hepatocellular carcinoma. *J. Surg. Oncol.* 82(3): 194-200, 2003.

- 13 Matsukura S, Soejima H, Nakagawachi T, Yakushiji H, Ogawa A, Hukuhara M, Miyazaki K, Nakabeppu Y, Sekiguchi M, Mukai T: CpG methylation of MGMT and hMLH1 promoter in hepatocellular carcinoma associated with hepatitis viral infection. *Br. J. Cancer.* 88(4): 521-529, 2003.
- 14 Matsukura S, Jones PA, Takai D: Establishment of conditional vectors for hairpin siRNA knockdowns. *Nucl. Acids. Res.* 31: E77, 2003.
- 15 松山 悟, 武井雅典, 木戸伸一, 眞方紳一郎, 本山健太郎, 北原賢二, 宮崎耕治: UFT 単剤療法が著効した胆嚢癌術後大動脈リンパ節再発の1例. *癌と化学療法.* 30(4): 547-549, 2003.
- 16 宮崎耕治, 松山 悟: 肝転移を伴う膵頭部癌に対する切除を含めた治療戦略. *消化器外科*26: 1773-1778, 2003.
- 17 三好 篤, 佐藤清治, 古賀靖大, 阪本雄一郎, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 食道癌術後重篤合併症併発例の検討. *日本腹部救急医学会雑誌.* 23(5): 721-727, 2003.
- 18 Nakagawachi T, Soejima H, Urano T, W Zhao, Higashimoto K, Satoh Y, Matsukura S, Kudo S, Kitajima Y, Harada H, Furukawa K, Matsuzaki H, Emi M, Nakabeppu Y, Miyazaki K, Sekiguchi M, Mukai T: Silencing effect of CpG island hypermethylation and histone modifications on O6-methylguanine-DNA methyltransferase (MGMT) gene expression in human cancer. *Oncogene.* 22: 8835-8844, 2003.
- 19 *Nakamura M, Matsuo T, Stauffer J, Neckers L, Thiele C: Retinoic acid decreases targeting of p27 for degradation via an N-myc- dependent decrease in p27 phosphorylation and an N-myc-independent decrease in Skp2. *Cell Death and Differentiation.* 10: 230-239, 2003.
- 20 Tanaka M, Kitajima Y, Sato S, Miyazaki K: Combined evaluation of mucin antigen and E-cadherin expression is a useful biomarker to apply minimally invasive therapy to gastric carcinoma. *Br. J. Surg.* 90: 95-101, 2003.

学会発表

- 1 萩原 淳, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 食道癌におけるマイクロサテライトマーカーを用いた OGG1 遺伝子の LOH 解析. 第103回日本外科学会定期学術集会. 2003, 6, 4-6. 抄録集 350.
- 2 萩原 淳, 北島吉彦, 佐藤清治, 古賀靖大, 佐藤 建, 三好 篤, 宮崎耕治: 食道癌における酸化ストレスに対する DNA 修復遺伝子 OGG1 の LOH 解析. 第62回日本癌学会総会. 2003, 9, 25-27. 抄録集 349.
- 3 萩原 淳, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 食道癌における酸化ストレスに対する DNA 修復遺伝子 OGG1 の LOH 解析. 第11回日本消化器関連学会週間. 2003, 10, 15-18. 抄録集 A602.
- 4 甲斐敬太, 中野 徹, 西方不二彦, 中野龍二: EMR 後断端陽性であった胃癌に対する外科的治療についての検討. 第58回日本消化器外科学会. 2003, 7, 16-18. 抄録集 492.
- 5 北原賢二, 宮崎耕治: 5年以上経過例解析と病理学的細分類からみた SO 胆嚢癌術式選択. 第58回日本消化器外科学会. 2003, 7, 16-18. 抄録集 242.
- 6 北原賢二, 下西智徳, 森 倫人, 松山 悟, 宮崎耕治: so 進行胆嚢癌における外科的戦略. 第15回日本肝胆膵外科学会. 2003, 5, 14-16. プログラム 126.
- 7 北原賢二, 下西智徳, 松山 悟, 森 倫人, 宮崎耕治: 肝細胞癌では部分切除で十分なのか? 一解剖学的亜区域切除術との比較検討. 第65回日本臨床外科学会総会. 2003, 11, 13-15. 抄録 277.

- 8 北島吉彦, 三好 篤, 萩原 淳, 佐藤 建, 古賀靖大, 宮崎耕治: HCC の進展における snail 遺伝子の役割 (E-カドヘリン抑制能+脱分化誘導+細胞浸潤能亢進). 第58回日本消化器外科学会 2003, 7, 16-18. 抄録集 554.
- 9 北島吉彦, 佐藤 建, 神谷尚彦, 松倉史朗, 古賀靖大, 北原賢二, 宮崎耕治: DNA 修復遺伝子の発現パターンをマーカーとした消化器癌に対する補助化学療法の個別化. 第65回日本臨床外科学会総会. 2003, 11, 13-15. 抄録 281.
- 10 古賀靖大, 北島吉彦, 神谷尚彦, 佐藤 建, 三好 篤, 宮崎耕治: 胆嚢癌における O6-methylguanine-DNA Methyltransferase (MGMT) 発現欠失と K-ras 遺伝子および p53 遺伝子変異との比較検討. 第15回日本肝胆膵外科学会. 2003, 5, 14-16. プログラム 282.
- 11 古賀靖大, 北島吉彦, 神谷尚彦, 佐藤 建, 三好 篤, 宮崎耕治: 胆嚢癌における O6-methylguanine-DNA Methyltransferase (MGMT) 発現欠失と p53 遺伝子変異スペクトラムと比較検討. 第103回日本外科学会定期学術集会. 2003, 6, 4-6 抄録集 440.
- 12 古賀靖大, 北島吉彦, 神谷尚彦, 佐藤 建, 三好 篤, 萩原 淳, 宮崎耕治: 胆嚢癌における O6-methylguanine-DNA Methyltransferase (MGMT) 発現欠失と下流遺伝子における遺伝子変異との比較検討. 第62回日本癌学会総会. 2003, 9, 25-27. 抄録集 513.
- 13 古賀靖大, 北島吉彦, 神谷尚彦, 佐藤 建, 三好 篤, 萩原 淳, 宮崎耕治: 胆嚢癌における O6-methylguanine-DNA Methyltransferase (MGMT) 発現欠失と K-ras 遺伝子および p53 遺伝子変異との比較検討. 第11回日本消化器関連学会週間. 2003, 10, 15-18.
- 14 Matsukura S, Jones PA, Takai D: A new tetracycline-inducible vector for siRNA based knockouts of DNMT1 in somatic cells. 94th Annual Meeting of American Association for Cancer Research. 2003, 7, 11-14. AACR for Cancer research 44: 1324.
- 15 宮崎耕治: 膵腫瘍および膵内分泌腫瘍の病態・診断・治療. 平成14年度日本消化器外科学会教育集会. 2003, 1, 31. (教育講演).
- 16 三好 篤, 北島吉彦, 北原賢二, 佐藤 建, 古賀靖大, 宮崎耕治: 肝細胞癌の脱分化制御機構についての解析. 第15回日本肝胆膵外科学会. 2003, 5, 14-16. プログラム 224.
- 17 三好 篤, 北島吉彦, 隅 健次, 佐藤 建, 古賀靖大, 萩原 淳, 宮崎耕治: 転写因子 Snail, SIP1 による肝細胞癌の脱分化・進展機構の解析. 第62回日本癌学会総会. 2003, 9, 25-27. 抄録集 164.
- 18 三好 篤, 北島吉彦, 隅 健次, 佐藤 建, 萩原 淳, 宮崎耕治: 転写因子 Snail, SIP1 は肝臓細胞の E-cadherin 遺伝子発現を抑制するとともに浸潤機能を亢進させる. 第103回日本外科学会定期学術集会. 2003, 6, 4-6. 抄録集 556.
- 19 中房祐司, 田中聡也, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 癌取り扱い規約を考える: 大腸癌における他臓器浸潤の意義. 第58回日本消化器外科学会. 2003, 7, 16-18. 抄録集 424.
- 20 中房祐司, 濱本隆浩, 伊山明宏, 松尾達也, 宮崎耕治: 乳房温存手術におけるピットフォール: 嚢胞内乳頭状増殖所見を示す乳癌: 第65回日本臨床外科学会総会 2003, 11, 13-15. 抄録 299.
- 21 中川内哲治, 副島英伸, 浦野 健, 古川鋼一, 江見 充, 関口睦夫, 宮崎耕治, 向井常博: CpG island 高メチル化およびヒストン修飾による MGMT の転写制御機構. 第62回日本癌学会総会. 2003, 9, 25-27. 抄録集 388.
- 22 佐藤 建, 北島吉彦, 神谷尚彦, 北原賢二, 三好 篤, 古賀靖大, 宮崎耕治: 胆嚢癌に対する個別

- 化治療戦略. 第15回日本肝胆膵外科学会. 2003, 5, 14-16. プログラム.
- 23 佐藤 建, 北島吉彦, 神谷尚彦, 萩原 淳, 三好 篤, 古賀靖大, 宮崎耕治: 胆嚢癌に対する MGMT, ミスマッチ修復遺伝子の発現パターンを分子標的としたアルキル化剤抗癌療法. 第103回日本外科学会定期学術集会. 2003, 6, 4-6. 抄録集 222.
 - 24 佐藤 建, 北島吉彦, 萩原 淳, 三好 篤, 古賀靖大, 中川内哲治, 副島英伸, 向井常博, 宮崎耕治: CDDP による MGMT 転写制御機序に着目した新規 modulation therapy の可能性. 第62回日本癌学会総会. 2003, 9, 25-27. 抄録集 320.
 - 25 佐藤 建, 北島吉彦, 萩原 淳, 三好 篤, 古賀靖大, 宮崎耕治: 胆嚢癌細胞株に対する MGMT 発現調節を介した CDDP の新たな modulation therapy の可能性. 第41回日本癌治療学会総会 2003, 10, 22-24. プログラム 86.
 - 26 佐藤清治, 三好 篤, 田中雅之, 濱本隆浩, 北島吉彦, 宮崎耕治: 食道癌に対する TS-1 を用いた放射線併用化学療法の試み. 第57回日本食道学会学術集会. 2003, 6, 27-28. プログラム・抄録集 139.
 - 27 佐藤清治, 田中雅之, 佐藤 建, 中房祐司, 宮崎耕治: 高度進行・再発胃癌に対する TS-1, 低用量 CDDP 併用療法の試み. 第41回日本癌治療学会総会. 2003, 10, 22-24. プログラム 61.
 - 28 佐藤清治, 田中雅之, 下西智徳, 濱本隆浩, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 食道癌周術期における Immunonutrition の臨床効果. 第65回日本臨床外科学会総会. 2003, 11, 13-15. 抄録 303.
 - 29 Satoh S: Weekly Taxol as Second-line Treatment for Advanced and Recurrent Gastric Cancer. Clinical Update Meeting, 2003, 1, 10-12. Focus on Chemotherapy Gastric Cancer. P7. January 12. 2003.
 - 30 下西智徳, 北原賢二, 森 倫人, 松山 悟, 宮崎耕治: リンパ節転移からみた進行胆嚢癌の至適術式の検討. 第15回日本肝胆膵外科学会. 2003, 5, 14-16. プログラム 179.
 - 31 下西智徳, 北原賢二, 松山 悟, 宮崎耕治, 中沼安二: 肝内胆管乳頭状腫瘍の免疫組織化学的検討. 第103回日本外科学会定期学術集会. 2003, 6, 4-6. 抄録集 687.
 - 32 下西智徳, 北原賢二, 森 倫人, 松山 悟, 宮崎耕治: 細胞癌に対する肝切除における術前門脈枝塞栓術 (PTPE) の効果. 第25回九州肝臓外科研究会. 2003, 7, 26. 抄録集 40.
 - 33 下西智徳, 佐藤清治, 林 晃史, 酒村智子, 矢ヶ部伸也, 宮崎耕治: 術前放射線化学療法が奏効し根治術ができた進行食道癌2例—TS-1/CDDP 併用療法—. 第65回日本臨床外科学会総会. 2003, 11, 13-15. 抄録 902.
 - 34 田中雅之, 北島吉彦, 平木将紹, 萩原 淳, 佐藤清治, 宮崎耕治: 食道胃接合部の食道粘膜より発生した有茎性ポリープ型扁平上皮癌の一例. 第57回日本食道学会学術集会 2003, 6, 27-28. プログラム・抄録集 170.
 - 35 田中雅之, 佐藤清治, 佐藤 建, 下西智徳, 中房祐司, 宮崎耕治: 消化管癌肝転移症例に対する Weekly Paclitaxel 動注療法の経験. 第41回日本癌治療学会総会. 2003, 10, 22-24. プログラム 71.
 - 36 °Soejima H, Yatsuki H, Matsukura S, Wei Z, Higashimoto K, Kitajima Y, Miyazaki K, Mukai T: Epigenetic control of imprinted p57KIP2 gene expression due to DMR-LIT1 functioning as a putative imprinting control region in esophageal cancer. Gordon Research Conferences 2003, Cancer Genetics and Epigenetics. 2003, 1, 5-10. Program. 6-7.

37 °副島英伸, 浦野 健, 松倉史朗, 中川内哲治, 北島吉彦, 押村光雄, 古川鋼一, 宮崎耕治, 向井常博: 食道癌における p57KIP2 のエピジェネティック調節機構. 第62回日本癌学会総会. 2003, 9, 25-27. 抄録集 133.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教授	宮崎 耕治	平成15年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(B)(2)	消化器癌に対する DNA 修復異常に立脚した治療戦略の構築	10,700
教授	宮崎 耕治	厚生労働省がん研究助成金		「共通プロトコールに基づいた膀胱癌の外科的療法の評価に関する研究」 班長 名古屋大学基幹調節外科 二村雄次教授	800
助教授	中房 祐司	平成15年度文部科学省研究費補助金	基盤研究(C)(2)	慢性拒絶反応のメカニズム解明と抑制法の開発: 全体像の解明を目指して	1,700
助手	下西 智徳	平成15年度文部科学省研究費補助金	若手研究(B)	肝内胆管癌における多段階発癌に関する病理組織学的検討および胆管癌実験モデルの確立	1,500

胸部

著書

- 1 大坪 諭, 伊藤 翼: I. 大動脈弁輪拡張症 a) 自己弁温存大動脈基部再建術. 田邊達三 監修, 安田慶秀 編集: エキスパートに学ぶ大動脈瘤手術. 第1版 15-21. メディカルレビュー社. 東京 2003.
- 2 岡崎幸生, 伊藤 翼: II. 弓部大動脈瘤 b) 胸骨正中切開アプローチによる弓部大動脈瘤の治療戦略. 田邊達三 監修, 安田慶秀 編集: エキスパートに学ぶ大動脈瘤手術. 第1版 44-50. メディカルレビュー社. 東京 2003.

学術論文

- 1 Furukawa K, Sakaguchi M, Ohtsubo S, Itoh T.: Direct coronary reimplantation for anomalous origin of the right coronary from the left sinus of Valsalva. Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery 2: 190-192, 2003.
- 2 伊藤 翼: 私の OP 録 Elephant trunk 変法による二期的胸部大動脈全置換術—上行大動脈の弓部化 Modified elephant trunk for total aortic replacement. Cardiovascular Med-Surg 5: 460-463, 2003.
- 3 *蒲原啓司, 吉戒 勝, 柚木純二, 麓 英征, 伊藤 翼, 村山順一, 濱田正勝: 胸部外科の指針 急性冠症候群に対する CABG—術前大動脈内バルーンパンピングを要した重症例について—. 胸部外科 56: 1075-1084, 2003.
- 4 *松本幸一, 加藤 明, 玉井 努, 古川浩二郎, 力武一久, 伊藤 翼, 工藤 祥: 大動脈造影下 CT を用いた Adamkiewicz 動脈及びその起始動脈の描出の試み. 日本医学放射線学会雑誌 63: 93-97,